社会資本総合整備計画　中間・事後評価

平成２９年　３月

【担当及び関係課】道路交通局都市交通部

計画の名称	「行きよい」都心づくりのための交通環境の整備・充実
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）
計画の目標	

市民や来訪者が容易に都心にアクセスできるよう、都心周辺の交通結節点から拡大都心核への公共交通機関のアクセス強化を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

・広島市が実施する「行政評価制度市民意識実態調査」における「公共交通の利用満足度」の向上を図る。
・都心周辺のＪＲ駅から公共交通の乗換え利用者の利便性を向上させ、公共交通の利用促進を図る。

定量的指標の定義及び算定式	当初現況値	中間目標値	最終目標値	備考
・実態調査の当該項目の全票本数に占める満足（「満足している」、「まあ満足している」）と答えた票数の割合（%） ・デルタ入口のＪＲ駅（広島駅、横川駅、西広島駅、（白島新駅））からの降客のうち、他の公共交通機関への乗換割合（%）	（H22当初）		（H26末）	
（満足度）＝（「満足している」、「まあ満足している」と答えた票数）／（実態調査の当該項目の全票本数）	61.1%		67.0%	
（乗換割合）＝（４駅の降客のうち、公共交通機関（代表手段）に乗換客数（１日））／（４駅の降客数（１日））	37.7%		現況より増加	

評　価　事　項

１．要素事業の進捗状況

事業費		
事業費	H22	26 百万円
	H23	81 百万円
	H24	317 百万円
	H25	1,329 百万円
	H26	－ 百万円
	合計	1,753 百万円

●基幹事業
・白島地区都市交通システム整備事業
　ＪＲ白島新駅の整備（ホーム長165m×2）を計画し、計画どおり実施した。
・ＪＲ西広島駅周辺地区都市・地域交通戦略推進事業
　バリアフリー整備（EV２基ほか）を計画したが、関係者との調整に日時を要し事業進捗に遅れが生じたため、実施できなかった。
・ＪＲ西広島駅周辺地区都市交通システム整備事業
　交通結節点整備検討を計画し、計画どおり実施した。
・白島地区都市・地域交通戦略推進事業
　測量、調査、基本設計を計画し、計画どおり実施した。

２．事業効果の発現状況、目標値の実現状況

要素事業の効果の発現状況

●基幹事業
・白島地区都市交通システム整備事業、白島地区都市・地域交通戦略推進事業
　ＪＲ山陽本線とアストラムラインとの交差部にそれぞれの新駅を整備し、相互を連絡通路で結ぶことにより、都心周辺の交通結節点から拡大都心核への公共交通機関のアクセス強化を図った。

・ＪＲ西広島駅周辺地区都市・地域交通戦略推進事業、ＪＲ西広島駅周辺地区都市交通システム整備事業
　バリアフリー整備について、関係者との調整に日時を要し事業進捗に遅れが生じたため、実施できなかった。

目標値の実現状況

指標：　（満足度）＝（「満足している」、「まあ満足している」と答えた票数）／（実態調査の当該項目の全票本数）

最終目標値（H26末） 67.0%	目標値と実績値に差が出た要因	成果目標の達成状況：非達成 新駅の整備により、都心周辺の交通結節点から拡大都心核への公共交通機関のアクセス強化は図られ、当初現況値より利用満足度は向上したものの、広島市全体の公共交通の利用満足度を目標値まで向上させるには至らなかった。
最終実績値（H26末） 64.5%		

指標：　（乗換割合）＝（４駅の降客のうち、公共交通機関（代表手段）に乗換客数（１日））／（４駅の降客数（１日））

最終目標値（H26末） 現況より増加	目標値と実績値に差が出た要因	成果目標の達成状況：目標達成
最終実績値（H26末） 37.9%		

要素事業に併せて実施した他事業の効果の発現状況、及び本計画以外に設定した目標値の実現状況

３．今後の方針

　未整備の要素事業については、H29年度より実施予定の防災・安全社会資本整備交付金事業（鉄道駅周辺の安心・安全な歩行空間の整備（防災・安全））と一体となって整備を推進することで、都心周辺の交通結節点から拡大都心核への公共交通機関のアクセス強化に取り組む。

４．その他特記事項